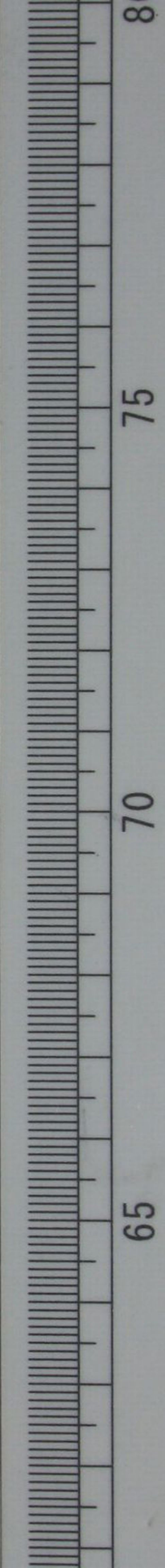




神  
伽  
羅  
小  
笈  
本

中村俊定文庫  
文庫 18  
858



序



田舎の二倍半の者ね  
 小答と題するものこそ  
 人のあつては仕方のあつて  
 是れはなほあるべきこと  
 かねてしれぬものなりと  
 是れは書札壇を行くこと  
 是れは新のそとをたふす  
 是れはしるべし一ねと

是の如く 染る者人と寒うんとおのり  
いふに悟るもさあそ原はくあ  
許諾せし我則独し彼す林よきりり  
亦よきし序よきりりお敬い 尔りよ

寛政五年一癸 世の冬

紀府

堀高しん



凡例

りといふ無に己う物事の心算なりて人よるに算を  
りあるわん我んを信りて人めりていある  
うぬあやうさうさう原原令し信し様どの  
何はよるさうさう再撰の能ある人  
新くいぬ書物よぬ由しゆ案案の能ある  
りぬあやうさうさう各々信のるに物  
りぬあやうさうさうさう信のるに物  
りぬあやうさうさうさう信のるに物  
三月の信のるに物  
三月の信のるに物



右二日二篇の事  
冬トス

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

山笑 山笑  
山笑 山笑

封入名三香柳丸ヲ  
 除之  
 田也 小名系庄云干  
 鱒之  
 筋住れ 仲了る茶葉ヲ  
 小ク申好タルリ  
 本地球也 天目ハ  
 俵之ヲ以テ除之  
 止齒固 出致ヨカタム  
 九ク止齒固ハ用マシ  
 テ之  
 大福 又系倫ハ裁  
 大後小後ト云ヨリ後  
 元日ニ限スルモノナリ  
 七五

中国茶葉 押之ヲ云ル  
 茶葉ニ日ニ吞ム白散  
 胡瓜大連カ  
 七千フルマ  
 トス  
 威美ヲ止テ候時ノ  
 種子 干海草  
 味多雜  
 五形 俗ニ云ゲニケ  
 古式ニ據  
 ト云ハミナリ  
 錐袋ヲ出ト云ヨリ  
 付名アルカ

ろゆはえ 彼アヲ 口云 へ川橋 初云

●本地球茶

食止齒固 居替 良散 多ヤク

大福 如斤 細 多ク子粒の子

幸標 押齋 新多 餅 芋乃 大根 茶

七粒 多所 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

茶 強 小豆 強 乃 乃 乃 乃 乃 乃

竹 身 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

肥 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

●干筋 ●干大根 ●干せき ●心根皮 羊皮

福 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

梅のり 紀加三ノメス  
梅之能文ヲ以テ名ト  
紀加三ノメス 薩摩  
のり氏云トサカハハ形  
容人

後 月ノリナリ  
川ニテ流リ 薩摩ニ  
別ス

水 水ノり  
サカハハハ形  
ノリナリ  
サカハハハ形  
ノリナリ

名ノり  
サカハハハ形  
ノリナリ  
サカハハハ形  
ノリナリ

今式ハ秋ナレハ  
梅ノり 決ニテサカハハ  
ハヤコトトクハコトハ  
中畧ノ果トサハ早  
小ニウナラントク  
四方梅 天子出度ヲ  
梅ニ玉ナリ  
新加三ノメス 美奈也  
元日第令 臣ニ梅ヲ  
手ナリト云ハハハハハ  
梅ノり 決ニテサカハハ  
ハヤコトトクハコトハ  
中畧ノ果トサハ早  
小ニウナラントク  
四方梅 天子出度ヲ  
梅ニ玉ナリ

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

● 梅ノり 薩摩 活大根 ● 若ニ云々

卯枝 枕本言枝  
ヲ直リ 卯枝ヲ  
直リ 卯枝ヲ直リ  
タクイナリ

白子 七後ヲ供  
取説出バノ卷  
アリ

新新 法良サヲ  
ナリナリ

カケ 的ノ罾  
アリ

古ハ 法良サヲ  
アリ

今ハ 法良サヲ  
アリ

林 表ニテ  
アリ

コナハル  
アリ

コナハル  
アリ

厄神 五ノケ  
ハハダタナリ  
ナリヨリ  
ハハダタナリ

古式ハ 及ニシテ  
モモノ名目ヲ  
テ四ノ善ノ善ヲ  
ナリニカ合式ハ  
名目ニ及ニシテ  
ニシテハハナレ  
及ナリ

鞍馬山 人法人  
火キ石ヲウル  
アル賣方  
重宿年主  
加括

重宿年主  
加括

火キ石ヲウル  
アル賣方

鞍馬山 人法人

重宿年主  
加括

火キ石ヲウル  
アル賣方

鞍馬山 人法人

節 二月  
卯辰月  
今月  
交法ノ中  
和ヲ命

天 月  
陽也

人 年  
代加ノ細  
耕

田 塗  
古系

賊 紙  
新系  
今系

系 苗代  
種  
山細  
磨

カケ 古式ハ  
今式ハ  
今式ハ  
今式ハ

カケ 古式ハ  
今式ハ  
今式ハ  
今式ハ

カケ 古式ハ  
今式ハ  
今式ハ  
今式ハ



新ト元ナリ

さいのほら 名のあま  
キ内ノ名氏又麻お  
あつらふはねく 洗  
アソイツレヤ

あまの みの三生  
はつらふ 花少  
昔のしき毛羽  
イツレヤ

蓮花 古式ニテシ  
今式彼者ノ比トス

麦草 即洗  
菊ノ根ナリヨリ  
三正メタレト  
根ノ下ハハ  
オノノ草  
松トノ草  
信ノ目  
直及ニ

毛ノ草 九テ  
トノ草  
ノ草  
ノ草  
ナレト  
オノト  
オノト

三ノ草  
オノト  
オノト

三ノ草  
オノト  
オノト

三ノ草  
オノト  
オノト

秋草 松葉 防風 ちり子 茶子

さいのほら 菜のて 大根 蒲公葉

アガヒ 眉 草苗 花 子

ツバナ 草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子

草 花 子







信テ云  
信テ云  
△五ナレト今式ニハ  
原テ云 仰テ云

ハ十八内ノ好ハイタ  
カノ子ノ崇ニアルヲ  
至リ育テ仕メテ  
ニ至リテテニテ合  
モノナリト云テテ  
信テ云

△信テ云  
今式ニハ若  
之ニテニテ  
ハテニハ  
信テ云

信テ云  
△信テ云  
今式ニハ若  
之ニテニテ  
ハテニハ  
信テ云

已見テ云  
頂テニテ  
信テ云

△ト云テ  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

信テ云  
信テ云  
信テ云

印をくく  
竹をくく

赤石房の丸 柳流  
十必ニテモチヨク  
テ必同股アリ巨船  
ノ人ハヨクモチヨク  
カヨノ丸ニシテモチヨク  
ニカフ (キモ) トウ

五日ナリ

川狩 古武ハエナレ  
ト今武ハエナレニ用  
ニウハナレテハ新

凡姫 裕 子 ぬ  
古武ハエナレナレ  
今武ハエナレニ用  
モチヨクナリモチヨク  
ナリニウレテハナリ  
ト

古武ハエナレナレ  
今武ハエナレニ用  
モチヨクナリモチヨク  
ナリニウレテハナリ  
ト

約羅 古武ハエナレ  
今武ハエナレニ用  
モチヨクナリモチヨク  
ナリニウレテハナリ  
ト

邦 夏 朱の 年云  
長壽殿

四月 卯月 中名 巳月

天 卯月 中名 巳月

人 卯月 中名 巳月

賊 卯月 中名 巳月

天 卯月 中名 巳月

人 卯月 中名 巳月

賊 卯月 中名 巳月

食 卯月 中名 巳月

牡丹 卯月 中名 巳月

牡丹 卯月 中名 巳月

牡丹 卯月 中名 巳月

牡丹 卯月 中名 巳月

牡丹 卯月 中名 巳月

牡丹 卯月 中名 巳月

牡丹 卯月 中名 巳月

牡丹 卯月 中名 巳月

若木の子 忠ノ入ノ三  
長三寸葉ノ間ノ実  
生山モノ如

こくらふ 病葉ノ  
赤ヲ云

若木の子 類ノ白丁ノ夏門ノ

蓮ノ花ノ浮葉ノ夏ノ子 揚子ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

木ノ子 類ノ白丁ノ夏門ノ

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子

生 類ノ白丁ノ夏門ノ

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

若木ノ子 若木ノ子 若木ノ子

如子に成てアスナリ  
 トツ  
 如子 鶴三ツタリ  
 在田系 如子ニ  
 化ニ秋ニ又田系ニ  
 化スルトツ

精角 今式ニ精角  
 ハ極ノ産ノ三ツタリ  
 テニ産ノ三ツタリニツ  
 ハルニナレト精角ニ  
 まるニ産ノ三ツタリ  
 ニニトナレト三ツタリ  
 ツレルトツ

白ニ重ニ 産ノ三ツタリ  
 青ニ産ニ 産ノ三ツタリ  
 スニレヨカケルヲ  
 子ニ産ノ三ツタリ  
 婦ニ産ノ三ツタリ  
 産ノ三ツタリ  
 ノ夫ボト女濁ラカ  
 ツキ法スル神子  
 中絶セシテ今ニ女  
 神ニテ隔ラツクニ

マ子ビス  
 稲田系 七条由  
 小島系 五ノ  
 ハ清系 馬ノル  
 後継系 牛ノリ

産ノ三ツタリ  
 ナリハ日神産出  
 産ノ三ツタリ  
 初産アリ あり  
 フ中子ニカサス産  
 ニカイルモ日十リ  
 子國子 息子母神  
 ニカイル  
 志佐 弘法大師ノ  
 如子ニカイル

(宗) □ 系 産 系 一日 掃 系 初 中

上ノ系 上申 松尾系 中申 多系 産ノ三ツタリ

山崎系 産ノ三ツタリ 日ノ住 多系 産ノ三ツタリ 三午 八港系 上

上津系 産ノ三ツタリ 新田系 凡 神系 産ノ三ツタリ

権作 産ノ三ツタリ 産ノ三ツタリ 産ノ三ツタリ 産ノ三ツタリ 中

神尾系 産ノ三ツタリ 清系 地系 産ノ三ツタリ 日系 産ノ三ツタリ 中申

在田系 中子 あり系 中子 岡白系 産ノ三ツタリ 中

寺系 産ノ三ツタリ 上申

子國子 十カ 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向

出塔 今 十カ 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向 向

若系 中子 産ノ三ツタリ 神法 産ノ三ツタリ 中子

了ノ系

七塔 今 天系 産ノ三ツタリ

东门ノ下ニアル 塔ニ云

系 産ノ三ツタリ

三日ニ日ニ云 八

柳ト云 八ヨリ 柳

系 産ノ三ツタリ 又







考ト下ハ五月十  
ラレ子ヲ推テ台ス  
モノナレハニヤ  
ニ包スニ  
絡後 飛雲虫ノ  
如ク写メギス云  
ニ包タリ  
茶心 船玉ニセウケ  
ト五色ノ糸ヲ巻ク  
附テ巻込ニカケル  
まゝニ包メテ  
之ヲ巻キテ  
之ヲ巻キテ  
附ノ下ナリ 飛雲ハ  
スレトナラヒヨリ  
ハト云  
那ノ我 丸ノ下ナリ  
我ノ糸ヲタカク  
ヲ云  
新後 舟ニテハ  
新ニ及ルナリ  
尾ノ糸カ死ヨイタ  
ル云

水馬 川ニテ出  
テアラサフ  
加茂々 舟 ケイ馬  
ナラシ  
之ヲ巻キテ 舟大月  
ニ包事ナシ  
小糸さー 舟  
ホリスノ糸ヲ云

蟹ノ皮巾 舟馬水ニ包 絡線蛇衣腕

行 茶玉 舟 新後 舟馬

丸ノ糸ニ包 舟馬

糸加茂 舟 舟馬

舟馬 舟馬

舟馬 舟馬

舟馬 舟馬

舟馬 舟馬

舟馬 舟馬

舟馬 舟馬

三伏 八重九伏スルナリ

初伏 中伏ニ至ナリ

未伏 廿ナリ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

三伏 廿ニ至リ

神 六月

初伏

中伏

未伏

神

天

人

財

人

財

人

財

人

財

人

財

人

財

人

財

人

財

人

財

人

財

人

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

十二月

正月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

十二月

正月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

十二月

正月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

十二月

正月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

十二月

正月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

十二月

正月

二月

三月

四月

五月

六月

七月

八月

九月

十月

十一月

十二月

正月





新田雄 秋色牙皮

此秋之 稲光

稲光 稲光  
電ノ音ヲ子新  
氏十廿ニカ信ノ元  
後ニ包スニ

其の系 女子も業  
ニタクニナラニトナ  
之巧ノ業 文字ヲ  
如ク人ノ業ニタク  
ニナラニトナイヌ  
志ス

新ノ稻 古稻ニハ  
ケルニララスト云  
氏今武三ハ古三

白左  
立派今 星ニトク  
之カケニヨリテカ  
桂の心 古式ハ志事

説アレ庄今武月ノ  
具名トナシ秋ナリ  
四季ノ詞ヲ述フ時ハ  
四季ノ月ニ用ユキ  
トリモ月モ星モ桂  
トモニヨクナリ

稲光 稲光  
稲光トナラニトク  
又志  
立派ニ六十六歳氏  
氏名トナレハ各月  
夜ニ限ハ海ナリ

上法 月ノ初合ニ  
去下法八月ノ末  
廿三日ヨリナク  
片ノ心 傍列ニ田  
テ八月十日人ノ  
女ハ葉内ナリウト入

稲光 稲光  
稲光トナラニトク  
又志  
立派ニ六十六歳氏  
氏名トナレハ各月  
夜ニ限ハ海ナリ

節 秋 白左 金高  
是天 稲景

七月 五月  
女ノ心 五月  
五月 初秋

之秋 今秋の秋 七夕 帝ノ中元

秋の系 冬ノ 稲光 新田雄 二百年日  
天 初秋 新涼 秋光

之 下法 稲光 天川 稲光  
稲光 稲光 稲光  
稲光 稲光 稲光

稲光 稲光 稲光  
稲光 稲光 稲光  
稲光 稲光 稲光

稲光 稲光 稲光  
稲光 稲光 稲光

人 稲光 稲光  
稲光 稲光 稲光

稲光 稲光 稲光  
稲光 稲光 稲光

賊 稲光 稲光  
稲光 稲光 稲光

食 稲光 稲光  
稲光 稲光 稲光

床又ハ姫姫ナトヲ  
見ル者ハ不クニモ  
ワリナリ

新茶場 類也  
▲茶物ノ依ヨリ秋  
トナルハ今式ナリ  
角力 昨說

横廷ハスイヲ君ヲ  
小元使トテ秋九ヨ  
リ角力ヲ秋ノ定メ  
タルナリ 依下ノ角力  
ハ四本ヲテハハハ  
レテハ雜ニモナカ  
ク後ニ依ニ位スル  
掛ヒ 在式ハ冬ナレト

▲今式ハ秋トクナレト  
一ヨナレテハ雜トス  
純ニ就今式ハ秋ニ決  
▲ニテ 秋ナレト雖モ  
トイヒ答テモニ  
雜ニ用ユナレトナリ

▲今式ハ秋トクナレト  
一ヨナレテハ雜トス  
純ニ就今式ハ秋ニ決  
▲ニテ 秋ナレト雖モ  
トイヒ答テモニ  
雜ニ用ユナレトナリ

▲今式ハ秋トクナレト  
一ヨナレテハ雜トス  
純ニ就今式ハ秋ニ決  
▲ニテ 秋ナレト雖モ  
トイヒ答テモニ  
雜ニ用ユナレトナリ

しりう 子、

(茶)

茶の類多しお女節とて毎度多

男節とて秋秋茶葉をな芭蕉破  
小車 此茶此茶のこころ  
ちよき角力茶

知るまゝの 茶金とてしらしと車と子  
曼珠ははめきき 秋は葉信とて

とてのこころとてのこころとて

茶の類多しお女節とて毎度多  
男節とて秋秋茶葉をな芭蕉破  
小車 此茶此茶のこころ  
ちよき角力茶

茶の類多しお女節とて毎度多  
男節とて秋秋茶葉をな芭蕉破  
小車 此茶此茶のこころ  
ちよき角力茶

(生)

生 抄るる 本權 茶の類多し

抄るる 本權 茶の類多し

抄るる 本權 茶の類多し

抄るる 本權 茶の類多し

抄るる 本權 茶の類多し

抄るる 本權 茶の類多し

抄るる 本權 茶の類多し

抄るる 本權 茶の類多し





依... 依... 依...  
依... 依... 依...  
依... 依... 依...

以... 以... 以...  
以... 以... 以...  
以... 以... 以...

八月 八月 八月  
八月 八月 八月  
八月 八月 八月

二月十日 二月十日 二月十日  
二月十日 二月十日 二月十日  
二月十日 二月十日 二月十日

天 天 天  
天 天 天  
天 天 天

名月 名月 名月  
名月 名月 名月  
名月 名月 名月

伏祈 伏祈 伏祈  
伏祈 伏祈 伏祈  
伏祈 伏祈 伏祈

清之 清之 清之  
清之 清之 清之  
清之 清之 清之

人 人 人  
人 人 人  
人 人 人

草持 草持 草持  
草持 草持 草持  
草持 草持 草持

賊 賊 賊  
賊 賊 賊  
賊 賊 賊

案心子 案心子 案心子  
案心子 案心子 案心子  
案心子 案心子 案心子

食 食 食  
食 食 食  
食 食 食

美 美 美  
美 美 美  
美 美 美

粉 粉 粉  
粉 粉 粉  
粉 粉 粉

乃 乃 乃  
乃 乃 乃  
乃 乃 乃

乃 乃 乃  
乃 乃 乃  
乃 乃 乃

乃 乃 乃  
乃 乃 乃  
乃 乃 乃

乃 乃 乃  
乃 乃 乃  
乃 乃 乃

引板 引板 引板  
引板 引板 引板  
引板 引板 引板

苗 苗 苗  
苗 苗 苗  
苗 苗 苗

苗 苗 苗  
苗 苗 苗  
苗 苗 苗

苗 苗 苗  
苗 苗 苗  
苗 苗 苗





茶をきき きのゆの  
お名茶ナリ  
その三つ 庵三つハ  
九日三茶黄袋  
ヲカケテ山ニ見ル  
トアリ 豊大長尾カ  
カ敷ナリ

四月にお 秋くち  
甘ハテ星ノ光キラメ  
キテ 鳴ラカナルヲ云  
細代お 氷魚ヲ丸  
切西ハ梳ヲ赤魚  
乃ヲ世シテ細ナトナ  
没ルルノ羽をナリ

子の雛 雨伝  
先入ニ逆縁三  
上トヲ取ラ又伝ニ  
ヨラハ一ツニ秋ノ後  
ヲ忘レス好ト取  
ラスニテ 秋ナルハ  
キヤ 伝後ニハ  
スヘトワ

初鴨 ちんちんハ  
▲ナレト 初鴨ト云テ  
秋トナス今式ノ當  
秋ナリ  
新茶も 古式ハ  
▲ナレト 秋トナセルハ  
今式ノ當秋ナリ  
秋茶  
ちんちんニ似テ  
茶ノ葉ハ枯ニ似テ

○ 九月 長月 十月 小田月

きく陽 茶をきき きのゆの ちんちんハ

茶のお ちんちんハ ちんちんハ ちんちんハ

林のちんちん 九月のちんちん 十月のちんちん

○ 天 後月 十月のちんちん 十一月のちんちん

茶のちんちん 十月のちんちん 十一月のちんちん

○ 人 細代お 十月のちんちん 十一月のちんちん

○ 食 十月のちんちん 十一月のちんちん

茶のちんちん 十月のちんちん 十一月のちんちん

○ 茶 十月のちんちん 十一月のちんちん

茶のちんちん 十月のちんちん 十一月のちんちん

茶のちんちん 十月のちんちん 十一月のちんちん

茶のちんちん 十月のちんちん 十一月のちんちん

茶のちんちん 十月のちんちん 十一月のちんちん

茶のちんちん 十月のちんちん 十一月のちんちん

茶のちんちん 十月のちんちん 十一月のちんちん

小サク言ハ廿三四尺  
形宮本棉ノ如シ紙ヲ  
縋子ナリニ試根ヲ加フ  
尾花  
人ノ種トシテハ心ヲ免  
人ノ種トシテハ心ヲ免  
萩ハ好更尾ニナリ  
トク

榜  
實フリ榜 榜榜  
襖實後カキ、ナシハ  
秋製ニテ日ヲ短テ  
成レハ實熟ハ八ノク  
冬ナリナシハ八ノク  
名同ヲ以テケス今  
式ノ傍ニ致クハ之  
ヲ以テナシトセニカ襖  
實後ハ名同モ長  
ケレハ榜ノ字ニモ及  
ハレハ名同ニ及  
ヘントリ

子系教 古式ニハ  
▲秋ハ冬ニ及テハ  
秋ナレバ今式ハカウ  
トナレバ及ハス教モ  
秋ナリ  
紀及ニテ尾麻ヲ  
少光上ト人秋ノ  
ニ重ナレバ俗ノ  
後ニ包スヘシ  
流ニテ弱リタ  
ルヲ免スニ能ク  
本巻列 原流  
肩ウラニ赤段中ナ  
息セテ林ニ及テハ  
小サク言ハ廿三四尺  
夫ヲ細ハリテ九ナ  
云古式ニナレト云氏  
尾坊モ既ニモ能ク

ツルモ  
結藻取 咲花  
生結  
為草 每草  
つが草 芝草

本 色之ぬき草  
為草 每草  
つが草 芝草

柳 熟柳 出柳 木結  
木結 木結 木結  
木結 木結 木結

柳 金柳 柳柳 柳子 柳子  
柳子 柳子 柳子

柳 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

柳 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

柳 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

柳 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

生 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

行 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

糸 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

柳 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

柳 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

柳 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

柳 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

柳 柳柳 柳柳 柳柳 柳柳  
柳柳 柳柳 柳柳 柳柳

アリトシノ御ラハ  
ムエモ及スニテ秋  
冬ニニ重クニスヘシ  
不怪田養々年ノ後亡  
テ玄祀ニ天養スル  
ス  
倒舞 俗名吉田ニ  
テ行ハルナリ  
那々宮ノ外ニ  
自ニ侍務ヲ執メ  
ニワナリ王ハ史ニ  
云ニテ海ノ神ニ夫  
ヨリ伊勢ノ内吉  
支府ノ宮ヲ云ハク  
神ノ名ニ云ハク  
桂ノ角力 云々 旧院  
凡ナリ 水汁ニナラ  
シムルナリ  
金和志 泉涌云々

跪敬祭 社アリ  
宇部 佐吉社  
市ノ下ナリ  
若念祭 洛ノ四方ニ  
山ノクラアリ 小山  
村ニアルヲ云ハク  
玉手田祭 八六天  
井田内社 びん美  
ナリ 保シ夫夫社  
アリ  
黒狼祭 付ノ玉  
地田ニ社アリ  
尤織祭 右風祭  
モ向ナラシムカニ  
意社 夫屋ノ以代  
百餘 必ヨリ縁女文  
ヲ貢スナリ相備初  
ナリ 外ニハ祭衣ヲ  
供ス

一宮系 十石  
名護系 十石  
濱系 九石  
和田系 十石  
黒服系 十石  
穴織系 十石  
左巻系 十石  
右巻系 十石  
山ノ系 十石  
津村系 十石  
沼方系 十石  
新田系 十石  
須賀系 十石  
山ノ系 十石  
津村系 十石  
沼方系 十石

波利系 十石  
室河系 十石  
平天系 十石  
志保系 十石  
京系 十石  
廣野系 十石  
新子系 十石  
尾系 十石  
西心系 十石  
上ノ系 十石

神世月 陽ハ神  
 以ハ純陰ナルコ  
 へニ云  
 陽月 事ヲ用ルニ  
 陰陽ヲ強フ故ニ  
 小春 十月八天和  
 暖ニシテ冬ニ似多ク  
 於ニ名ク小正月ハ  
 俗名ナリ  
 木葉樹也  
 木の葉ちるちる  
 すすりくくとうる  
 けあめいさり  
 強入 古式ニハ  
 王冬上云凡ハ古式ニハ  
 路ハ報ニテハルノ  
 字ヲ添テハさそく

梅子 古式ニ秋ト  
 云レハ路ハワムト  
 云梅ハ折ト云テ  
 今式ハ冬ナリ  
 指切 下下凡凡  
 以テテハ細  
 号子ニ及ハ古今  
 二ハ古スヘシ  
 公堂ニ集候 虎ニ小魚  
 ヲ丸貝ナリ  
 大根引 古式ニ  
 云々云々ヲ子引  
 ヲ接フヘカラス  
 云ト畧ニテ云倍  
 添ヘシト  
 毛毡 内巻下ノ  
 極ラニテモセ  
 フセクナリ

節 冬 元英 上天 吉  
 内巻 天幕 安寧  
 十月 神ヲリノ小正月  
 陽月 良月  
 下元ナリ  
 天 小春 十月 風 山解ル  
 木葉小竹 氷 雪 涼 月 凍  
 早雪 氷 氷 水 潤 乾川  
 雪 雹  
 人 強入 梅子 麦荷 冬 鳥  
 指切 豚 大根引 芋

賤 短冊 巨短 尺 尺 尺 尺  
 綱代 曲好 尺 尺 尺 尺  
 冬 積 冬 冬 冬 冬 冬 冬  
 子 好 温石 巨短 湯 湯 湯 湯  
 中 中 中 中 中 中 中 中  
 食 系 系 系 系 系 系 系  
 切 切 切 切 切 切 切 切  
 大根引 大根引 大根引 大根引





休鷲 古式八林ナレ

▲氏公式八林ナレ

魚子焼

燧火

十月朔有司燧

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

燧火

系 系神送り神 族神也之

神の角もあまの系

注玉の系

芭蕉の系

命令係

振文掛

系 十一月 十二月 正月

天 書

人 書

書

書

書

書

書

書

書

書

近者物列ニテコ  
始テコト追ニ成  
カレタテヲ捕ルナリ  
ト云フ事ナレハ  
為ルカシカミレ依  
テカシクハ  
時ヲ利ユ  
暖キ 住ホノ植ヲ  
ヤ提テトクニ示  
却ハテモテ放  
キテカシクハ  
ヤテカシクハ  
スレハ此レ  
カレタテヲ  
始テコト追ニ成  
カレタテヲ捕ルナリ  
ト云フ事ナレハ  
為ルカシカミレ依  
テカシクハ  
時ヲ利ユ  
暖キ 住ホノ植ヲ  
ヤ提テトクニ示  
却ハテモテ放  
キテカシクハ  
ヤテカシクハ  
スレハ此レ  
カレタテヲ  
始テコト追ニ成  
カレタテヲ捕ルナリ  
ト云フ事ナレハ  
為ルカシカミレ依  
テカシクハ  
時ヲ利ユ  
暖キ 住ホノ植ヲ  
ヤ提テトクニ示  
却ハテモテ放  
キテカシクハ  
ヤテカシクハ  
スレハ此レ  
カレタテヲ

①本 芽根柳 定木 梅 三ヤニ  
冬多梅根探 三ヤニ  
②生 追テコト追ニ成  
③熱 定木 柳 梅 三ヤニ  
④行 定木 柳 梅 三ヤニ  
⑤里 柳 梅 三ヤニ  
⑥新 柳 梅 三ヤニ  
⑦南 柳 梅 三ヤニ  
⑧中 柳 梅 三ヤニ

先ノ物 今年ハ  
初穂ヲ 天子キコ  
ニメスナリ  
新穂 大種ニ  
穂ヲクルナリ  
カレタテヲ  
始テコト追ニ成  
カレタテヲ捕ルナリ  
ト云フ事ナレハ  
為ルカシカミレ依  
テカシクハ  
時ヲ利ユ  
暖キ 住ホノ植ヲ  
ヤ提テトクニ示  
却ハテモテ放  
キテカシクハ  
ヤテカシクハ  
スレハ此レ  
カレタテヲ

中申 山科系 上 平尾系  
中申 加茂系 中 西  
大井系 中 西  
三浦系 中 西  
相学系 中 西  
三浦系 中 西  
大井系 中 西  
相学系 中 西

乙子相カ 乙子子ヲ  
 祝フ相カナリ  
 彌八 辰也也也  
 彌月八日ハ明星ヲ  
 又テ出世ノ望ヲ悟リ  
 山子出テ依テ禱  
 家ニハ以テ中禱ニ  
 曉ニ彌ヲ食カ  
 ヲウカユト云  
 除根 年廿ノ法ヲ  
 ヲ除クト云云  
 併打 四條坊門  
 拉系院ニテリ  
 惣エテ禱禱ヲ受  
 三條坊門内ノ所也  
 忌三十八日ナツキム  
 洛中ニ出テフクベ併  
 キニテ五基ヲ  
 也ルノ流ノ後也  
 乙子十リ  
 固見 大ニ十日也

園ニホリ 御多ク  
 乙子ノ人ヲ云云  
 及陽解ノスル  
 甲子ノ人 元氣  
 乙子ノ人ヲ云云  
 ト云々ノ人ノ人 余  
 ノ人ノ人ノ人  
 白木ノ人 除根  
 白木ヲ焼ハ後神  
 フソル  
 進儀 惣ノ人ニ  
 金ノ人 四角テ  
 カブリ云々云々  
 キハ云々云々テ室  
 中ノ人 惣ノ人  
 進本ノ人ニテハ後  
 乙子ノ人ノ人  
 テハ云々云々  
 ト云

節十二月 彌月 移リ 節迄  
 卯月 乙卯月

乙子新リ云々の入彌ハ年内云々

節ノ人 豆子 米云々

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波

年余波 年余波 年余波



百歌

一八句

七句目

九句目

九句目

二五句

一三句目

二五句目

一三句目

三二句

十二句目

三二句目

十二句目

右五句

七句目

右五句

七句目

右五句

七句目

右五句

七句目

一三句

一三句目

一三句目

一三句目

百五句

百五句目

百五句目

百五句目

百五句

百五句目

百五句目

百五句目

百五句

百五句目

百五句目

百五句目

百五句

百五句目

百五句目

百五句目

百五句

百五句目

百五句目

百五句目

百五句

百五句目

百五句目

百五句目

廿心泊りりー一月との望の迄近て廿八日の迄も  
 神新志せき廿九日所ある迄の迄迄と廿九日  
 越一の所を化りー廿九日のて廿九日迄  
 配ありー

ふふ字

此式古きおふふいふ  
 用指さす所共くふふをーし

廿九ハ白	七白ノ月	廿九十二白	七白ノ月
二廿九十二白	十一白ノ月	二重九十二白	十一白ノ月
三廿九十二白	十四白ノ月	三重九十二白	十四白ノ月

右残九十二白 十一白ノ月 右残重九十二白 七白ノ月

七ー二解

廿九ハ白	七白ノ月	廿九十二白	九白ノ月
二廿九十二白	十一白ノ月	二重九十二白	十一白ノ月
三廿九十二白	十四白ノ月	三重九十二白	十四白ノ月

深ふ

廿九ハ白	七白ノ月	廿九十二白	七白ノ月
二廿九十二白	十一白ノ月	二重九十二白	十一白ノ月
三廿九十二白	十四白ノ月	三重九十二白	十四白ノ月

五十一部

七の月 九の月

九の月

八の月 二の月

九の月

五十二部

七の月 九の月

九の月

八の月 二の月

九の月

五十三部

七の月 九の月

九の月

八の月 二の月

九の月

五十四部

七の月 九の月

九の月

八の月 二の月

九の月

古の三の月... 七の月... 八の月... 九の月...  
七の月 九の月  
八の月 二の月  
九の月

五十五部

七の月 九の月

九の月

九の月



二七九ハク

七〇ノ月

二七九ノ月

三〇ノ月

経云云も格のそ違はるにまじしはる社を  
 風く三白ありと連した二方のユマヤム古た  
 おのほまふなむくは社二つとて是れゆり  
 ばふゆりくさるはあまの此者はさ  
 さのちあふり

いのれの式あてもは社に起るまよまよまよ  
 ち一廿ふたみふ白蛇のこま由本あまの  
 才三まそにむりあまのたのたは入社と

ちあま一毎月こと月ありのあまの月の  
 ちあまにはあまのちあまはしん社たる  
 才三迄ふ月とあま一ちあまの月と  
 定るあてて定るあてて言はるは  
 何れあててもは社に起るまよまよ  
 西結結あまのちあまのちあまの  
 ちあまのあまのちあまの  
 ちあまのちあまのちあまの

二七九ハク





道字

三行のしるしに依りて

らざるは其物ありて合はば平ふまはぬのみとの  
間人しとくは嫌音節と以て定まらぬとの  
あれいふしと静言の如き短きにはいふとい  
用はるもそのわきま

運言の如しといふれども此は其の  
二つありては平なるは其の用と知して  
を嫌ふは其の用を知らず

古字の如し人倫の如しに假令とありて

言とも人倫の如しといふは其の用と知して  
人倫ありては言はるべしといふは其の用と知して  
まうと定まらぬは其の用と知して  
人倫の如しといふは其の用と知して  
といふは其の用と知して  
自他之境を分ちて其の用と知して  
其の用と知して  
其の用と知して  
其の用と知して

足おと一程のえ解にきり一とあるも送るも  
 耳目のまをえとてよまのよまのきりきり  
 けい故を扱するの式ふい術名と真名との解ありて  
 一とあるまをえとてきりきり月とてきりきり日とて  
 ねらぬ厚包のあきりきりまをえとねらぬとて  
 術名も目きりきり耳目のまをえとてきりきり故をえとて  
 けい故を扱するの式ふい術名と真名との解ありて  
 一とあるまをえとてきりきり月とてきりきり日とて

月日のまをえとてきりきりきりきりきりきり  
 かりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
 かりきりきりきりきりきりきりきりきりきり

けい故を扱するの式ふい術名と真名との解ありて  
 一とあるまをえとてきりきり月とてきりきり日とて

一とあるまをえとてきりきり月とてきりきり日とて

けい故を扱するの式ふい術名と真名との解ありて  
 一とあるまをえとてきりきり月とてきりきり日とて

安ある

少年心

分秋

迹

七十年前の細粒なる時

降る

甘く清く 甘くく 天相 宛相

何ふ 何ふ節 何直 面鏡

足とハ其と言ふ 鏡白の 香白の 雲を離<sub>誰</sub>て

吾の白のくはりの波をらんぬー 句をくわ

ふくの用をきく 寂て 吾の白の内の 龍を

降るふらん 雨の 雨のふらん 空境と言ふ

降るふらん 雨の 雨のふらん 空境と言ふ

相傳るはらなり

下は心のやまを言ふ して 四洲のあふ海に 古記

年をよめ 相傳る 傳古今 おふ 龍の 龍あり

文化四年七月

三五二 138

天保十一年子四月



書林

同

紀州若山新通三丁目

總田屋平右衛門

二丁目

帶屋伊兵衛

存  
書  
家  
藏  
印



